

生活介護 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月31日

事業所名: 多機能型事業所にじいろ

回答数: 6名(回答率: 100%)

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わか らない	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	0	プレイマットが利用児者の安静スペースで一杯になっていることがあります。また、活動に応じて間仕切りなどを使用しています。ベッド配置等を工夫し、動線を作り出していますが、スペースが狭いと感じています。	活動や機能訓練時、向きや位置等に気を配っています。定期的な生活空間の見直しとともに、日々工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5	1	0	0	バリアフリー化や情報伝達への配慮はおこなっています。	利用者の特性に合わせた構造化は検討をおこなっていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか	6	0	0	0	季節に合わせた飾りや、横になっている方にも見えるレイアウトの工夫をおこなっています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	0	0	現在、取り組みをおこなっています。	
	6 利用者・家族等向け評価表により、本人もしくは家族等に対して事業所の評価を実施するとともに、本人および家族等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	0		
	7 事業所向け自己評価表及び利用者・家族向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1	0	0	今年度より評価を開始しました。公表も予定しています。	実施はしていますが、職員間での周知がされていなかったため、職員間の周知を行ってきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	0	4	0	現在、第三者評価は実施していません。	今後、実施する方向で検討中です。

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	0		
	10	年齢相応の対応、言葉かけ、呼称を使っている。	6	0	0	0		
	11	職員や関係者の価値観で決めるのではなく、利用者の意思を尊重するように努めている。	5	1	0	0	通所での活動や介護支援において、適宜意思確認は行なっています。	実施について、再度職員間の共有を図るとともに、周知徹底をおこなってまいります。
	12	利用者に合わせたコミュニケーション方法を選択している。	6	0	0	0		
	13	アセスメントを適切に行い、利用者や家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、生活介護計画を作成しているか	6	0	0	0	現状では、明確なアセスメントシートがない状態ですが、計画更新時には、支援会議等で確認を行っています。	標準的なアセスメントシートを作成し、計画更新等に合わせて実施してまいります。
	14	アセスメントを適切に行い、利用者や家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、多職種協働でカンファレンスの実施、リハビリテーション実施計画書を作成しているか	6	0	0	0	所定のリハビリテーション実施計画書に基づいてアセスメントを行い、リハビリ実施計画書会議を開催して、各職種との情報共有を図り、作成しています。	
	15	利用者の心身の状態、適応の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	2	0	現状では、重症心身障害児者が対象のため、当事業所にあったアセスメントツールは使用していません。	現状では、カンファレンスや支援計画にて分析し計画に盛り込んでいます。今後、当事業所に適したアセスメントを検討、導入していきたいと考えています。
適切な支援の提供	16	生活支援計画書には、生活介護の基本方針で示す支援内容から、利用者の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	0	支援計画書はご家族からのニーズを踏まえて、具体的な支援内容を設定するように実施しています。	
	17	生活介護計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0		
	18	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	0		
	19	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	0		
	20	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる生活介護計画を作成しているか	3	2	1	0	身体的な活動は適宜検討して個別と集団を組み合わせる実施していますが、計画への反映は不十分です。	生活支援計画の見直しに合わせて、個々の特性に合わせて個別と集団の活動に留意しながら作成(記載)を行ないます。
	21	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	0		

	22	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	2	0	送迎等の関係上、打ち合わせの時間を合わせずらい現状です。翌朝のミーティングや口頭、記録にて申し送り等を実施しています。必要時には適宜実施しています。	勤務形態の違いもあり、定期的な開催は難しいため、現状の情報共有は継続しつつ、さらに職員間の共有方法は検討していきます。
	23	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	0		
	24	定期的にモニタリングを行い、生活介護計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	0		
	25	定期的にモニタリングを行い、リハビリテーション実施計画書の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	0		
関係機関や保護者との連携	26	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に参画しているか	6	0	0	0		
	27	利用者および家族の生活に関わりのある関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	0	0		
	28	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、介護の関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	0	0		
	29	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合) 利用者の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	0	0	0		
	30	他の障害者支援センターや障害者支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1	0	助言や連携は行なっていますが、研修は受講できていない状態です。	全職員が研修を受講できていないため、受講できる勤務体制を検討していきます。また、職員間での伝達等の情報共有も図っていきます。
	31	他事業所や地域等との交流や、障害のない人と活動する機会があるか	2	3	1	0	屋外活動の際に近隣の方への挨拶等はおこなっているが、活動での交流はありません。また、同施設内の他事業所との交流は行事の際に行なっています。	今後も交流方法等を継続して検討していきます。
	32	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の生活状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	0		
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して計画的な支援を行っているか	6	0	0	0		

本人・保護者への説明責任等	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	0		
	35	生活介護の基本指針に基づき作成された「生活介護計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	6	0	0	0		
	36	多職種協働で作成れた「リハビリテーション実施計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	6	0	0	0		
	37	定期的に、利用者および家族からの生活上の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	0		
	38	当事者および家族の会の活動を支援したり、家族会等を開催する等により、当事者や家族同士の連携を支援しているか	6	0	0	0		
	39	利用者や家族からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族に周知し相談や苦情の申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	0		
	40	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族に対して発信しているか	4	1	1	0	毎月、ホームページ上のブログにて活動の様子や行事等の紹介はこなっています。	広報誌は施設全体から2回/年おこなっています。ブログの紹介も、保護者がわかり易いように毎月配布する日程表等に明記していきます。
	41	個人情報の取扱いに十分に注意しているか	6	0	0	0		
	42	障害のある利用者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	0		
43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	0	0			
非常時	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や利用者、家族に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	0	0	適宜、訓練等を実施し、マニュアルの更新も心がけています。	
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	0		
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を確認している	6	0	0	0		

時 等 の 対 応	47	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	1	0	ご家族からの聞き取りをおこなっていますが、指示書等の対応はできていません。	今後、利用開始時に確認や対応を行なっていきます。
	48	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	0		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	0		
	50	どのような場合にやむ得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、生活介護計画に記載している	2	3	1	0	支援計画等に記載する方法を検討しています。	支援計画書への明記するとともに、実際の方法や記録等をご本人およびご家族へ十分に説明をおこなっていきます。